

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 金武町立 中川小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒904-1201
沖縄県 国頭郡 金武町字金武10154番地

E-mail nakagawasyou@woody.ocn.ne.jp

Website _____

児童生徒数 男子 27 名 女子 33 名 合計 60 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（キャリア教育）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校はESDの活動のテーマとして「つながる地球みんな仲間」と設定し、環境教育、国際理解教育、キャリア教育、平和教育の4つの分野をつなげ取り組んできました。

環境教育としては、1.2年生は生活科で3.4年生は総合学習で

5年生は今回稲作体験をプランターを用いて行いました。5年生の子どもたちは稲の栽培の学習を通して、水田の管理の大変さや、お米ができるまでには多くの手間暇がかかることを学びました。

また、本校の理科クラブに所属する4年生6名は、校区内にある億首川のマングローブ林とその周辺の水田に渡ってくる渡り鳥の調査、億首川と県内のマングローブ林が存在する川の水質の調査を行いました。

国際理解教育については、英語特区として、特例的に教育課程を編成し、全学年で英語活動に取り組んでいます。1年生は年間34時間、3.4年生は35時間、5.6年生は70時間授業時間を計画しています。普段の英語活動と共に、ハロウィン、クリスマスなどの諸行事に合わせて、外国の方をお招きし交流を通して海外の文化に触れたり、金武町海外移住者子弟等研修生受け入れ事業で来町している研修生の方々と交流会をしたりしました。更に6年生はSkypeのビデオ通信機能を用いた外国の学校、ナミビアのオビカンゲ小学校との交流を試験的に行うことができました。

今年度は「届けよう、服のチカラプロジェクト」へ参加し、アフリカにある難民キャンプで避難生活を送る難民の方々へ服を送るため、児童会を中心に地域や近隣の学校へ広報活動を行い多くの方々の協力を得てたくさんの服を集めることができました。この活動を通して外国で今なお起こる紛争とそれによって生まれる避難民の問題に目を向けることや、地域の方、近隣校と協力してできる達成感を得ることができました。

また国際理解教育の中の自国の文化を尊重する態度の育成を目標に、地域の伝統文化に触れる体験活動に取り組みました。運動会では地域の伝統芸能であるエイサーを演じるため、地元の青年会の協力で演舞指導を受けることができました。また中川区区長さんの地謡による生演奏で本番は踊ることができ、ご家族、地域の方にも喜んでいただけました。平和教育では、6月に、対馬丸事件の数少ない生存者であり、対馬丸記念館の館長でもある高良 政勝氏を講師に招き平和集会を開きました。子どもたちからは「対馬丸に乗っていた子どもたちがかわいそう」「戦争は自分たちと同じくらいの子もまで不幸にしてしまうから絶対にいやだ」などの声がありました。6年生は11月に行った修学旅行で、沖縄平和祈念資料館や、戦跡をめぐる学習を事前学習から、まとめのレポート作成まで、年間を通した学習を行うことができました。

キャリア教育では、各学年で道徳、学級活動、生活科、総合的な学習の時間、社会科などの学習を関連させ、人間関係形成能力、自己理解能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の育成を図りました。それに加え6年生は夏休み期間を利用し、保護者の職場に出向き、働いている様子を観察する、ジョブシャドウイングを行いました。

以上のような活動をつなげ本校では、「夢や目標を持ち、心身共に健康でたくましく、持続可能な社会に貢献する子」の育成を目標とし、取り組んで参りました。

